

2022年9月11日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

9月11日 聖日礼拝		前奏	招詞	イザヤ書43章1節
		「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。」アーメン		
会衆賛美	聖歌64	会衆賛美	鹿のように	
主の祈り		交読	詩篇51篇1～13節	
礼拝祈禱		使徒信条		
聖書朗読	ガラテヤ人への手紙 2章15節～3章1節	説教	神の純なる愛	田中英牧師
会衆賛美	聖歌111	献金		
頌栄	聖歌376	祝祷		
報告		後奏		
感謝祈禱				

■聖歌64「神の賜う愛」

- ①神のたもう愛 あまつ喜び 恵みに満ちたる あがないぬしよ
み前にひれふし 祈るわれらに またき み救いを もたらしたまえ
- ②おののく われらに きよき 御霊を ふきいれ 安きに 導きたまえ
み旨（むね）に さかろう思いを除き 変わらず ただ主を慕わせたまえ
- ③力もて のぞみ われらのうちに みくらいを定め とどまりたまえ
日々主をかしこみ 日々主に仕え 日々主を愛して 過ごさせたまえ
- ④またき み救いの くしきみわざに 造り変えたまえ けがれなき身と
み国に のぼりて み顔を拝し 限りなく生くるものとしたまえ

■鹿のように

谷川の流れを慕う 鹿のように 主よ わが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾 あなたこそ わがちから
あなたこそ わが望み われは 主を仰ぐ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇51篇1～13節

- 1 神よ 私をあわれんでください。
あなたの恵みにしたがって。
私の背きをぬぐい去ってください。
あなたの豊かなあわれみによって。
- 2 私の咎を 私からすっかり洗い去り
私の罪から私をきよめてください。
- 3 まことに 私は自分の背きを知っています。
私の罪は いつも私の目の前にあります。
- 4 私はあなたに ただあなたの前に罪ある者です。
私はあなたの目に 悪であることを行いました。
ですから あなたが宣告するとき あなたは正しく
さばくとき あなたは清くあられます。
- 5 ご覧ください。私は咎ある者として生まれ
罪ある者として 母は私を身ごもりました。
- 6 確かに あなたは心のうちの真実を喜ばれます。
どうか私の心の奥に 知恵を教えてください。
- 7 ヒソブで私の罪を除いてください。
そうすれば私はきよくなります。
私を洗ってください。
そうすれば 私は雪よりも白くなります。
- 8 楽しみと喜びの声を聞かせてください。
そうすれば あなたが砕かれた骨が喜びます。
- 9 御顔を私の罪から隠し
私の咎をすべてぬぐい去ってください。
- 10 神よ 私にきよい心を造り
揺るがない霊を 私のうちに新しくしてください。
- 11 私を あなたの御前から投げ捨てず
あなたの聖なる御霊を
私から取り去らないでください。
- 12 あなたの救いの喜びを私に戻し
仕えることを喜ぶ霊で 私を支えてください。
- 13 私は背く者たちに あなたの道を教えます。
罪人たちは あなたののもとに帰るでしょう。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ガラテヤ人への手紙 2章15節～3章1節

【2章】

- 15 私たちは、生まれながらのユダヤ人であって、「異邦人のような罪人」ではありません。
- 16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただイエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちもキリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。
- 17 しかし、もし、私たちがキリストにあって義と認められようとすることで、私たち自身も「罪人」であることになるのなら、キリストは罪に仕える者なのですか。決してそんなことはありません。
- 18 もし自分が打ち壊したものを再び建てるなら、私は自分が違反者であると証明することになるのです。
- 19 しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。
- 20 もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。
- 21 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

【3章】

- 1 ああ、愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、目の前に描き出されたというのに、だれがあなたがたを惑わしたのですか。

■聖歌 1 1 1 「われいのちを」

- ①われ いのちを なれに与え 血に ながみを きよくなくて
死と よみの手より なれをとぎぬ いかなるものもて なれこたえし
- ②われは父の 神のもとを 去りて暗き地に くだれり
栄えも くらいも われ 捨てたり なにものを捨てて なれ こたえし
- ③なが罪ゆえ われは打たれ なが不義ゆえ われくだかる
十字架の悩みは ながためなり いかなることもて なれ こたえし
- ④またき救い 愛とゆるし われは買って ながものとする
この良き賜物 受けし なれは いかなる こたえを われに なすや

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」